



第19號

發行所 郡民館 額田公所 縣公署 知事官舎 愛知縣 幸田郡 幸田町 幸田

あなたの御協力を!

もう今年ぞど

どんな部落でも、どんな村でもそれはそこに住む人々の共同社会です。町も村も市も都道府県も国家もまた一つの大きな共同社会です。このように、われわれの住む社会は、小さな地域の集りから、その隣の小さな地域の集りとながりが合つて、だんだん大きな地域の集りを作っているのです。その地域社会には、そこに住む人たちによつて解決しなければならぬ色々の問題があります、またより住みよい、より明るい地域社会を作るための計画も考えなければなりません。またこれまで世の不様な人々のために立派な働きをしてきた、色々な社会事業施設の充實についてもみんなの力で進めて行かねばなりません。

ん。毎年十月にくり展げられる共同募金運動も、その具体的な協力のあらわれであり、今では国民の年中行事の一つとして最も明るく最も美しいものとなつて参りました。五年目を迎えた今年もまた、碧く澄み渡つた秋空の下に、あの温い赤い羽根の募金運動が展開されました。本年三月二十九日法律第四十五號をもつて社会福祉事業法の制定をみましたので共同募金も愈々法の裏付によつて新しい一步を踏み出すことになりました。待望の講和條約の締結を機会に、この運動の趣旨と使命をよりよく理解して頂きこの美しい運動に立派なみのりのありますよう、皆さまと共に祈りましょう。

もちつもたれつ助けて行かにや人という字は立ちはずぬ。!

共同募金について

伊野鯉之助

- 愛知縣目標額 五千八百万円
- 一、配給予定
 - A 民間社会事業施設団体 〇〇〇〇円
 - B 地区社会福祉協議會及保育園 二六、一四、〇〇〇円
- 二、中央共同募金委員會分担金 二七、七、五〇〇円
- 三、募金経費 三五〇、〇〇〇円

- A 市区郡町村事務交付金 一、七五〇、〇〇〇円
- B 宣傳啓發及び事務費 二、〇〇〇、〇〇〇円
- 合計 五八、〇〇〇、〇〇〇円
- 實際募金額 四八万円を各郡市分担
- 〇額田郡目標額 七九一、八〇〇円
- 〇幸田村目標額 一六五、八〇〇円

昭和二十六年幸田村共同募金目標額

支所名	戸数(一戸当三八円九〇)		人口(一人当七円一)		合計
	總数	免應募數	總数	免應募數	
長嶺	〇	〇	〇	〇	〇
久保田	〇	〇	〇	〇	〇
坂崎	二、三九	〇	二、三九	〇	二、三九
大草	二、五八	〇	二、五八	〇	二、五八
高力	九、二	〇	九、二	〇	九、二
新田	一、〇	〇	一、〇	〇	一、〇
鷺田	一、四六	〇	一、四六	〇	一、四六
岩堀	三、〇	〇	三、〇	〇	三、〇
横落	七、〇	〇	七、〇	〇	七、〇
萩	二、八	〇	二、八	〇	二、八
芦谷	一、五〇	〇	一、五〇	〇	一、五〇
幸田	一、九四	〇	一、九四	〇	一、九四
里	一、六	〇	一、六	〇	一、六
海谷	一、〇四	〇	一、〇四	〇	一、〇四
市場	二、〇	〇	二、〇	〇	二、〇
合計	二、八四	〇	二、八四	〇	二、八四



防犯について 大塚 弘

終戦から最早六年にもなり、待望の講和が結ばれましたが、犯罪面の眺めるとまだまだ平和国家とはいえない現状であり否却つて最近増加の傾向にありますことは誠に寒心に堪えません。

犯罪防止については、元より警察の努力が第一であります。そのみでは犯罪をなくすることは到底望めません。村民皆様方の御協力があつてこそ完全に防止することができるのでございます。

防犯の原則は、先づ第一犯罪にからぬこと、第二犯罪を起させないこと、第三犯罪が起つたら早く解決して後を断つこととあります。次にこれが實現について具体的に申し上げて、皆様の注意と協力をお願い致します。

一、戸締りは必ず厳重にする。こんな事は三つ児でも知つてゐるが實行されていない、被害現場を調べると必し戸締りの不備が原因となつてゐるのが多い。
 1. 表出入口、裏戸、横出入口、風呂場の窓、雨戸等の施錠を厳重に。

- 2. 少しの留守も必ず施錠する。
- 3. 戸締りの責任者を定めて必ず施錠の習慣をつけること。
- 二、成るべく留守にしない。
- 1. 一寸の留守も隣に頼んでいく。
- 2. 野良仕事の途中で暇つて見る。
- 3. 外泊は絶対禁物。
- 三、風雨の強い晩は注意する。
- 盗人は風雨の音を利用するのが多いから特に厳重に注意深くすること。
- 四、深夜の犬の泣聲に注意する。
- 1. 犬が吠えたら何か變事があるのだから必ず起きて異状の有無を調べる
- 五、見知らぬ人は怪しい、相手にせず詐欺にかゝらぬように。
- 1. 最もらしい事をいつても決して信用せず、身分証明を求めること。
- 2. 怪しいと思つたら隣人と協力して早く警察へ連絡する。
- 3. 盗人は必ず一度は現場を見にくる
- 4. 知らぬ行商、買出、其他怪しい者の人相、特徴、持物、自轉車鑑札番號等を覚えておく。
- 六、被害を受けたら現場に手をつけないで早く警察を届ける。
- 以上大要を申しましたが、此の他各家庭によつて注意する点もありませんが、「要心は臆病にせよ」です。お互に安心して平和な住みよい村にいたしましょう。



昭和二十六年国民たすけあい 共同募金運動について(承前) 伊野鯉之助

六、中央委員会の運営

- 1. 広報活動
 地方委員会の行方への援助する。
- イ、機關紙發行 全国に實施
- ロ、全国的報導機關との連絡
- ハ、委託による宣傳物の製作
- ニ、企画立案並に技術上の協力援助
- 2. 連絡協議會
 地方中央の事務執行の連絡協調情報交換のため、全国、地方プロツク別に開催。
- 3. 地方委員会の個別援助運営の必要に應じ協力援助する。
- 4. 現任訓練
 担当者のために研究会の開催資料の作製等を行う。
- 5. 調査研究
 共同募金運動指定地區設置要項に基く實地研究、其の他各種の調査統計研究を地方委員会協力の下に行い、結果を地方委員会に提供し又は全国に公表する。
- 6. 安定資金
 共同募金安定資金設置規定に基き安定資金を管理する。
- 七、社會福祉協議會との關係

1 綜合計画の推進

- 地方、中央委員会は區域の社會福祉協議會と共同し地域的な綜合福祉計画を推進のため常に相互の連絡を保つ。
- 2. 広報の關係
 兩者表裏一体の広報活動を留意
- 3. 配分計画目標に對する意見
 地方委員会は豫めその區域社會福祉協議會の意見をきき、配分計画並に目標額の適正な決定を期する。
- 4. 受配者の指導
 受配者相互の協調配分金の活用經營基礎の充實、資料の整備及び公私社會事業の分野の確立等について社會福祉協議會の行う連絡指導に期待する。
- 以上 大體中央委員会の募金運動要綱を示した。次に縣委員會の態度に基き村委員諸君と相談して村に適した方法で運動に着手する考です。

みなさん

◎讀書しましょう

讀書週間



◎申し開きの立たぬ話

研究農場 金沢栄一

最近某方面より「研究農場の種子は混種が多くて困る。何をしとるのか？」と散々お叱りを受けて誠に恐縮致しておる次第であります。御迷惑をおかけした農家各位に紙上をかりて深く陳謝の意を表すと共に今後かゝる不手際のないよう充分気をつける覚悟でございます。

さて混種問題について廣報紙上で一々辨解するのもおかしな話ですがちようど今年には幸田村に四町八反歩の採種団が割当られ各農協単位で之を計画し夫々精農家を選び採種圃の經營を委ねられておりますので轉ばぬ先の杖、前者の轍を踏まぬよう御參考までに考えて見たいと思ひます。種子が混ざる原因は色々あると思ひますが主なるものとして、

1. 脱穀調整の時相当慎重にやつたつもりでも機械の中に残つていたり藎の編目に入つていたりして混じることがある。
2. 種子の交換配布の時交換品を入れた容器の中に残つていたものが混じつたり袋に入れちがつたりすること

ともある。

3. 苗代時代 これが案外多い浸種をしすぎて芽の出かゝつた場合等隣の短冊で混じる。又播種当時風雨が強く種子が混交することがある。

(塗込苗代ならこの心配はない)

尙農場の例で申し上げると品種が非常に多く一つの收納舎にいくつもの種子を藎に並べて置くとちよつとしたはずみに種子が混じる。誠に申し譯ない極みであるが、案多そんな所から大變皆様方に御迷惑をおかけしたと思われます。いか程辨訴し見たとところで事實は事實只々陳謝の他はありませぬ。そこで本年採種圃經營の各位や農協の係員の方達が以上の諸点に御留意になり、春以來の心を水の泡に苦いわゆる「百日の説法尻一つ」にならぬようくれぐれも御要心御要心——と申し上げ最後に御迷惑をおかけした農家各位に農場の片隅から深くお詫びする次第でございます。

みなさん、ごぞつて
御参加下さい。

とき 十一月三日

体育大會

幸田中学校校庭



今年の麥作は移植栽培で

黒柳普及員

麥は經濟的に國際競争力が弱いのので現在非常に不遇な立場にあるので相当菜種に轉換が予想されている。しかし麥の適地では何とか對策を考へて栽培を續けなければならぬ。それには栽培面積を減らして收量を増し生産費を引下げると共に家畜を導入し濃厚飼料に利用し有畜營農の基礎を確立すれば有利な經營がなりたつものと確信します。

一例として麥の増産を養鶏に結びつけて考へて見ると小麦一反歩の收量目標を五依とすれば反当十五羽の自給飼料(五割自給)養鶏が可能で三反も作れば優に四五十羽の副業養鶏が成り立つ、上手に飼えば安いサラリーマン一人に必適する。

それで問題は反当五依以上の小麦を安全に取るには移植法を採用するのが最も良いと考へるのであります。従来移植麥といへばすぐ「手間がかかる」との先入観であるが之を細かく検討すれば植付株数が多いのと植方が悪いからで二條植(縦七寸横六寸畦幅二尺二寸)にすれば相当疎植で田植と同じ位になり一日一

人で三畝は植ります。植付方は耕地を耕した直後石灰窒素反当六貫全面撒布とし四日後整地して直ぐ二尺畦竹の植網を張り巾六寸引らち七寸で前進しながら挿指植法で植える。全反別植終つてから磷酸と堆肥を條間に施し後は普通栽培に準じ彼岸前後反当二貫内外の硫酸を考慮する。尙育苗が特に大切で「苗半作」の諺は移植麥の場合にびつたり当てはまる貧弱な苗でしたら移植を断念した方が勝だ。良い苗とは本葉五枝内外で廣く短かく四寸位で横にひろがつて根元が太く四五本分葉して根が賑かなのです。育苗の基準となる事柄は苗床面積本圃反当り二條植で十五坪坪当播種量小麦裸麥四勺大麥五勺反坪当所要量小麦七合大麥九合程度であります。播種期は絶対増収栽培十月十五日、二十日増収栽培十月二十日、二十五日晚植用十月二十五日、三十日で苗床肥料は普通稻苗代の使用量以外に三倍にうすめた下肥を坪当り一斗施して播く、麥苗は稻苗と違つて肥えすぎの心配はないから十分やるがよろしい。

以上私の体験による努力節約目標の麥増収栽培の概略で、最良だといへないが、こんな具合の着想で合理的増収と經營の合理化をお奨めする次第であります。



徳 二宮先生
を偲ぶ
SHIGA

報徳とは、天地人三才の大徳に眞心を基として勤儉の徳を以て報ゆることである。即ち天に日月ありて雨露を生じ、地に山川ありて五穀を生じ、我等人類相助けて生活する所以である。この報徳の主意で、二宮尊徳先生は天明七年七月二十三日相模國栢山村の貧家に生まれた少年時代早くも世の辛酸をなめつゝ、人は徒らに座食するのみではいかぬ、必ず世の恩に報いなければならぬと志して只管率先實行を後世に垂れ、安政三年十月二十日下野國今市の官舎に没するまで、七十年の生涯を一貫して、道徳と經濟との調和を圖つた稀に見る民主的大偉人である。遺徳を慕う人々相計つて相模の小田原、下野の今市に祠を建て、報徳二宮神社と齋き祀り、参拜する者常に後を絶たず。

あゝ栢山の寒村に生をうけて幾多の困苦に堪え、至誠よく一生を貫きその徳澤は幾多の人を救ひ、其の遺教は永久に世を益する二宮翁こそ實に「世の鑑」である、皆さんよく翁の教を究めて講和後の祖國再建は是非報徳の精神を表わすように心がけましよう。

●日本總人口

八千三百万

昭和二十五年十月一日現在で行われた國務調査の結果について一〇%抽出法による集計結果が總理廳統計局から發表された。人口總数は八千三百二十万人(男四千七十九万四千二百四十万九千)で、その中國籍が日本にないもの六千四万人(男三十五万七千女二十八万二千)と國籍不詳二千人が含まれている。

都道府縣別に見ると第一位東京都の六百二十七万八千人について北海道大阪福岡で愛知縣は三百三十九万一千人で第五位、少いのは鳥取の六十万福井の七十五万二千人。

都市では東京都の區の區域五百三十八万五千、大阪市百九十五万六千、京都市百十万二千、名古屋市三万一千、神戸市七十六万五千、横濱市六十五万一千となつてゐる。

◆新語の誕生

新語は新しい事物が生まれ、世相が變るにつれて、數限りなく作られる、その中で一番多いのは片假名で書いた外國語で、それを外来語と呼んでゐる、外来語の多くは、何かしら新奇な感じを興えることを目的にしたものが多い、「優先的獨占興行

●世界人口

二十三億(一九四九年)
半世紀に八億の増加

世界保健機構發表によると世界總人口は二十三億七千七百七十四万人で、一九〇〇年は十五億五千七十万であつたので、二十世紀前半五十年間に約八億二千六百万の増加である。尙世界五十二ヶ國中減少したのはエールだけで、最大増加はインド、パキスタン、最大増加率を示したのはアルゼンチン(二五一%)で大要次のとおり。

- ソ連、二億 (七千四百万増)
- アメリカ、一億四千九百二十万 (七千三百二十万増)
- インド、四億二千四十万 (一億三千七百九十万増)
- パキスタン、(一億三千七百九十万増)
- アルゼンチン、一千六百万 (一千二百二十万八千増)
- △エール、三百万 (二十万減)

その一 地 下 水

「といつた方が判りよくても、言葉の感じからいうとロード、ショーの方が價值があるように見える、しかしコンミニニテイ、チエストのように、あらゆる階層に訴える事業では「共同基金」と翻譯しなければ一般的に通用しない。カーニバルは本来

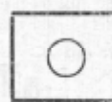
は春の復活祭前の謝肉祭のことであるが、日本ではこの祭から出た「馬鹿騒ぎ」の意味に使つてゐるのでミス・カーニバルは「馬鹿騒ぎ嬢」になつて翻譯すると具合が悪い。

血液銀行だの日曜画家だのという新語も直譯で、元の意味を知らないとなつたことか判らない、しかし意味を知つてしまえば仲々いい譯語だ。

新語で困るのはそれを短くチョンぎつた片輪の言葉がはやることだ。

みなさん國旗を
お忘れなく

十一月三日



文化の日

現代はデンポの早いせつからな時代だから、それが言葉にも反映してゐる譯であるが、それ以外に、新聞が見出しを書く時に、長い言葉だと不便なので、短くする場合もある。

モダン、ボーイがモボ、エダンガー、ルガモガ、アブレガールがアブレ、テレビジョンがテレビなど、元は外國語なのだが、外國人には判らなくなつた言葉である。



郷土史料(その十七) 志賀又郎

村政回顧 収入役の巻

氏名	就任年月日	退任年月日	回数	在任年月数	備考
1 市川常松	明治39年8月29日	明治40年4月24日	1	〇、八	明治5年正8生、大正10年7月27日、深溝字山脇五、長男、侍
2 千賀松太郎	全	全	1	二、〇	—
3 齋藤十太郎	全	全	1	一、六	明治2年10月20日生、大正9年1月28日、深溝字愛宕山三〇、長男、理賢
4 鈴木貞之助	全	全	1	一、一	—
5 三浦信吉	全	全	1	〇、〇	明治3年8月21日生、昭和5年8月11日、坂崎字小道一四、敬吉
6 平松倉吉	全	全	1	〇、一	—
7 三浦信吉	全	全	2	一、七	—
8 山田藤治郎	全	全	1	〇、〇	明治13年3月6日生、昭和26年4月27日、芦谷字南屋敷二三、長男、俊彦
9 川口兵重郎	全	全	1	二、七	—
10 藤江眞九郎	全	全	1	二、九	—
11 伊藤忠平	全	全	1	一、九	—
12 山本松之助	全	全	1	三、〇	—
13 若林藤三郎	全	全	1	〇、〇	明治5年正2生、昭和10年5月16日、萩字荒井七、孫隆
14 小林五市	全	全	1	〇、一	—
15 三浦米一	全	全	1	二、八	明治24年3月15日生、深溝字西ノ入二
16 中村賢治	全	全	1	〇、〇	明治33年9月21日生、長嶺字東馬場崎一
17 中村賢治	全	全	2	〇、〇	—
18 山口忠雄	全	全	1	三、一	—
19 齋藤松太郎	全	全	1	—	大正4年1月3日生、深溝字西折谷一一



四季の民俗(その十)

案山子(かかし) 砂楼生

甲、稲刈が始まると、急に案山子が目につくようになるね。家庭菜園が盛になり、都市でもかかしが親しまれているが、全国では随分種類も多いだろうね。

乙、種類は多いが大抵三通りに分けられるではないかね。第一は案山子自身の持つ靈力に頼ろうとするもので神体や繪馬や祭に使つたしめ縄しで等を竹につけたもの、次は之と外形のおどしを兼ねたもので弓矢を構えた普通の案山子で、三番目が實用的なもので、音や動きや光臭いの効果をねらつて張り渡した針金に吊した紙面の反射光線を應用したもの、羽毛を焼くもの等色々あるようだ。

甲、凡そ鳥の驚きそっけない一本足の案山子がどうしてあれ程長い間使われて来たのかしら？

乙、つまり春の彼岸の中日に山の神様が里に降られ田の神になられ耕作を守られて無事に收穫を終えてから又山へ歸られ山の神様になるいわば案山子自身が田の神様なのであつて、單に實用効果以上の靈力を考へていたものであり、又刈上げがすんで案山子が用済になると庭先で改めて餅を供える案山子あげの行事も、山へ歸る田の神様を送る祭のわけだね、最近案山子あげもなしに立ちくされになつて冬中寒風にさらされてるのを見るのは淋しいことだと思ふね。

來年のことをいふと K 子

鬼が笑うが、カレンダー卸商の店先はもう閏辰一九五二年一色に塗りつぶされている。年表月表日めくり等図柄は色とりどりだが、日曜と祝日の組合せを見ると、ダブルのは動勞感謝の日が一日、二日續きは文化の日、三日續きは五月三日四日五日中一日おいて成人の日春分の日天皇誕生日秋分の日と四回ある。真中日サボつて旅行するには最良の年尙二月二十九日生の人は、四年に一度の誕生日を祝う事ができる譯だ。



◎私達の生活とラジオ 露子

楽しい生活がしたい、よりよい生活がしたいということは、人間の最も自然な欲望ではないでしょうか。この欲望があるからこそ、人々は、現在の生活を少しでも改善し、一層進んだものにするための努力を惜しみません。この努力があるからこそ社会は日々進歩し、生活は豊かになるのです。

それでは、よい社会をつくり、私達の日常生活を明るく豊かなものにするためには、どうすればよいでしょうか。戦後東京の郊外にあつた、實例を次に申し上げてみましょう。牛乳が非常に不自由な時で、赤ちゃんを持つたお母さんたちは大変苦しみました。

ある日、「ラジオの集い」というものがあることを知つたお母さんたちは、集つてこの問題について意見の交換を行いました。そして、とにかく、お役所や商人達に陳情するとともに、私達でお金を出しあつて乳牛を一頭飼つてみようということになりました。やがて、この運動がだんだんと大きくなつて、今ではこのグループは立派な牧場を持つて、自ら悩みを解消すると共に、社会の多くの人々を救つております。この實例が示すように、生活を樂

しく豊かなものへと發展させるためには、まず、私達自身が世の中のこと、社会のことを十分知つていて、これに對する意見と見識を養つておくことが必要ではないでしょうか。このためには、私たちは、進んで優れた専門家の意見をきき、それを私達の生活に照らしあわせて批判しその問題について自由活潑な意見を發表しあつて、自分の考えを十分検討してみる機會を作ることが大切なことです。ラジオは皆様の一番手近にあつて絶えず最も新しい知識を送つてくれます。私たちは、このラジオを使つて、よりよい生活、すぐれた社會をつくり出す工夫をしてみようではありませんか。

人口動態 (8月)

出生	20	11	9	104
死亡	10	4	6	41
死産	2	2	16	73
婚姻	6		6	
離婚	1			
合計				219

◇台所のお化粧は 家庭で T子 疲れが休まる 緑色の居間

アメリカはペンキの國だけあつて台所などは主婦が手軽に化粧するといふ。秋空の下、休みを利用して家の内外や家具のペンキ、水性ペイント、ラックニス、エナメル等を塗つた人の話をきくと、古いのが見違える程きれいになり気分が一新した。

- これで濕氣が防げて長持ちする。
- 居間の壁に薄い緑を塗つたら疲れが休まり、仕事の能率が上がる。等々
- 塗装のよい点を数々あげている。
- 塗る時の一般的心得は
 - 1 天氣のいい日を選ぶ
 - 2 塗る物の下地は錆や古塗料をできるだけがして可成平らにぬる。
 - 3 刷毛は一端から一定の方向に動かしてムラを作らないようにする。
 - 4 コールタール、クレオソート以外
 - 5 一回で厚く塗り上げるよりも、薄く何回も塗り重ねる。
 - 6 塗り終つた刷毛はラッカーシンナーで洗つて毛並を揃えて長く使う。
 - 7 悪い塗料ははげ易いから一流品を使つた方が得だ。
 - 8 濃くて困る時は油やアルコールで薄めるといい。



乳兒の便について

乳香兒をかかえたお母様方の一番御心配の便について簡単に話しましょう。便はあかちゃんのお腹具合を知るバロメーターです。その回数、硬さ、色、臭いなどに絶えず氣をつけましょう。しかしあまり便にとらわれすぎて栄養不良兒を作らないように充分注意しましょう。

- 一、よい便
 - 母乳栄養 回数 日に三〜五
 - 人工栄養 回数 日に三〜五
 - 軟膏様べつとり 水分少くかたい
 - 臭い 微かに甘酸ばい 幾分強い
- 二、わるい便
 - 顆粒便、水分多く中に白い粒がある
 - 少し飲みすぎても起る、更に悪くなれば鼻汁様の粘液がでる。これは腸カタルの前兆ですから哺乳の時間や回数を加減しなさい。
 - 緑便、俗に青い便という。腸内細菌の作用で黄が緑に變る消化不良の証據ですが、母乳栄養では時々なるもので余り心配せぬがよろしい。
 - 臭い、酸ばいのは腸に酸酵が起つた兆、いやな臭いは腸内で食物が腐つたので共に消化不良の証據です。その他血液が混つてでるのも消化不良の兆です。

幸田村委託助産婦會



戦後の俳句雑感 (三) 平松 荻雨

これらの句になると前掲の句と比べ
 そうとう高い詩情と沈滞した句境を
 発見することが出来る、しかしこれ
 らの句がさびのある句ひの高い句と
 して永久に残るものとは思へない残
 るとしてもそれは吾々の一生にはこ
 おゆう時代もあつたのだという一時
 代の變遷を物語る記念的な句として
 残るよ、外にはないであろう、これ
 らの作者は全ど二十代の若いものば
 かりであり己の生活を通して心のた
 かぶりをがむしやらかにまで發揮して
 いると言へよう、しかし若いうち
 このくらいの奮気が有つてもしかる
 べきだと思ふ作品の價値云々は別と
 して己の心情をこゝまではつきり言
 い現せるものは青年でこそ出来、出
 来るそのこと自体が一つの幸福であ
 るからであるそしてその表現こそ短
 詩形文學以外にはないのである。

農業は他業部門に比べて表面は仕
 事が單調に見え一般には知られない
 苦しい地味な生活である、かるがゆ
 えにその従事者ことに青年層に於て
 は多少、行過ぎかと思はれる程の意
 氣と精氣が必要ではなからうか、か
 くいう私もまだ若いせいか一般に農
 村若者は積極性に乏しくむしろ壯
 年、老年層に押され勝つ様に思へて
 ならない(私の偏見であつたなら訂
 正する)。俳句というものも時代の
 進展に伴つて主観句だとか容観句だ
 とか寫實主義だとか前衛俳句などと
 色々な方面から作られる様になつて
 来たのであるがやはり自然を基とし
 た動物(人間も含む)社會の生活を
 詠むに外ならないのである、である
 から私達の生活こそ最もその好條件
 に恵まれてゐるわけである、農村の
 青年層間にも本稿掲載程度いやより
 以上の俳句(生活俳句と言つてもよ
 い)が生れて当然であり亦生まれな
 ければうそである。

色美しく食卓に

秋茄料理のコツ

秋の茄は皮が幾分固いので焼茄に
 は向かないが「秋茄嫁に食わずな」
 といわれる程うまいもの、色の美と
 風味をそこなわす食膳に上せるには
 焼明礬を水にとかした中にしばらく
 つけてから料理するといひ。
 塩押し、少し塩を強めにする。
 漬物、糠味噌の中に金氣(古釘等)
 を入れると一層色がよくなる。
 煮物、だしが充分沸騰してから入れ
 落し蓋をして茄を空気にふれないよ
 う注意をすればいい。

— 藪子 —

赤い羽根の歌

サエウハチロウ作詞

- 一、とんぼが見送る赤い羽根
 とんぼも秋の 赤とんぼ
 きもちもかりりと 晴れた空
 誰かにあいさつ したい朝
 いろはにほへと アイウエオ
 ABCD 赤い羽根
- 二、あの子の胸にも 赤い羽根
 なにやら風が ささやいた
 よいことあるよな くるような
 氣がしてならない 鴉の角
 いろはにほへと アイウエオ
 ABCD 赤い羽根
- 三、小雨の日暮れの 赤い羽根
 灯りと雨に ゆれていた
 からかさまわして くる人の
 襟にもゆれてた 同じ羽根
 いろはにほへと アイウエオ
 ABCD 赤い羽根
- 四、おはようこんにちは 赤い羽根
 あかるい聲に はすむ胸
 みんながみんなで みなのため
 さようならおやすみ 又あした
 いろはにほへと アイウエオ
 ABCD 赤い羽根

とぼね観月句會

萩 分 館

- 街抜けて道一とすじや虫の秋 千秀
- 窓の灯のこぼれて遠し雨月かな 〃
- 月に歩す虫のすだきの足元に 待月
- 中天の月に椅の相觸る、 〃
- 稻の香のたゞよい来たる月の道 漱瀨
- あか／＼と山をはなる、閨の月 〃
- 思ひ出の多きこの道月今宵 句路
- 事決するまで無月の庭を踏み歩く 〃
- 満月も梢も暗き虫時雨 青峰
- 行く道のほのと明るき無月かな 〃
- ひんやりと一と衣の肌立秋深し 武夫
- 名月の雲に隠れて更けにけり 〃
- 老松の黒々と立つ無月かな 幸白
- 月雲り来しまゝ雨の月見かな 〃
- せゝらぎのきこゆ彼方や虫の闇 藪子
- 雨足のはげしくなりし月見宴 〃
- 虫籠をつるして縁に留守居かな 隆
- つれだちて月見に虫の道を抜け 〃
- 走り穂に露の流る無月かな 萩雨
- 更けし夜の露ふりこぼす鶴の風 〃

短歌

雑詠

杉浦亮一選

秋 光 丹羽 昭吾

陽に透けて黄に見ゆる葉の葉裏より
秋澄みいゆく光の發ちぬ
赤芽椏のまたも萌さしし赤き葉にみ
なざらふ陽の深く葉秋めく
葉鶏頭の紅のあざやかさ増して来つ
心たゆたにこれに寄らしむ

完けくも澄みし空には赤あきつの群
翔ばしめて秋はやさしき
穂孕みゆく稲に寄りそひ手觸れなば
いかなる秋の感覺あらむ

(評) 独自の詩境を拓きつつある
詩作が眞剣である。

初秋雜詠 足立 竹友

蟬鳴きて肌衣に汗をおぼゆれど陽さ
しはやも縁にまで射す
誘蛾燈の点火をきそふ童らのしばし
にて野良に燈をちりばめぬ

たたずめる白雲鰯のかたちにてさな
がらに生く眺めてをれば
鶏の騒ぎおどろき見れば風過ぎて搖
るる芭蕉葉鶏舎を打てり

(評) 心をうつものをとらへて歌
に仕上げてゐる、そこが注
目に値する、風の芭蕉 誘
蛾燈など何れも面白い。

菅沼 信江

守る人のなくて幼な子のあはれなり
ひとりごと言ひて遊びなれつつ

初 秋 夏 月

橋の上夜更くる知らで涼みをれば秋
かと思ふ風の吹き来る
たへがたき暑さの去りて今は早や田
面吹きくる風の涼しき
日ざかりはいと暑けれど朝夕に軒の
すだれをはづさむと思ふ
いつしかも風は變りてゆく夏に名残
り惜しげの蟬の聲かな

秋の夜の長きをかこつ考の身のめざ
めてうれし曉の虫の音

(評) 歌ひ楽しんでゐるのはよい
吟誦快さは調べの上に見はれ
てゐる。しかし、若い人の目
ざす境地ではない。この作者
も創造への發願に目覺める時
が来るであらう。

雜 詠 鈴木 信一

退院の喜びに満ちし眼にとまりわび
しくのこる室のわが名札
入社の日昔の花は早や散るか寮へ
の道の肩にこぼるる
みのりよき重きことしの稲穂を手に
喜びだまふ父今は亡し
お節句を母います里に歸り来て花散
る縁に暮れて語らう

(評) 眞實が歌はれてゐる。

ゆく雲吟社 十月抄

おり／＼の風語らひぬ冷奴
法師蟬 微熱の床にきゝおりの

目に見えぬ小さきもので秋なりけ

朝顔の花小さくなり妻毛絲編む
冷奴作法なきまゝ手を觸れず
喜びの包解きけり萩の餅 芳
講和終え明るく咲きし蔘珠沙華
講和終え焦土に堪えし菊咲けり 壽
道訪ひし黒衣の僧や大豆の花
草刈れば 露草の冷え掌にひしと 人
山の端に松の秀出てゝ月今宵
晝寝覺めて喜雨沛然と来いけり 文
赤き傘さし行く乙女顔かくす
朝露をふくみたるまゝ女郎花 とし子
師に文す封の瞬間稻妻す
終業のペルに流るゝ汗拭きぬ 万津江

秋大雨川水うねり岩を打つ
芭蕉の葉大きくゆれて秋の風
縁蔭に馬休ませて晝寝馬子
谷川の潮音涼しや暮を圍む 幸
冷奴母と一つの小皿にて 山
鯛焼けば犬が尾を振る厨かな 美
生活の意慾逞まし冷奴 小
淋しき時庭の桔梗のいとほしく 夜

不意に來し招かぬ客へ冷奴
蝶一羽動かす暮れて夕焼す、連水
青年の髪てら／＼と街残暑
かたまつて人聲が行く朝寒き 一
清貧も妻と二人の冷奴 小
秋風や風車のゆるく廻る音 蘭
ダリヤ熱ゆ童の晝寝今もなほ
芋虫の肥り妬みて曇に耐えし 待
出動の頬に秋冷覺えけり 月
初秋の蚊悲しきまでも旅の寢臭
泣けそうな心を包み花野付つ 弘
コスモスのやつれにやつれ花もてる 人
晚酌の夫の笑や冷奴 清
奥座敷夫と晝寝のありし頃 風
冷奴生妻の香りつんとときぬ
長談議片耳虫に貸しにけり 波
夕映に燃ゆるがごとし葉鶏頭 文
踏石にコスモスの影搖きおり 千代の
蟻の列祖母の追憶まぎ／＼と
立秋を祖母逝き人の死を憶ふ 弘
罪寝窓トランプ砂塵を上げて過ぐ 子
妻かなし秋灯下外米の石拾ふ 蒼生
一点の浮子に我なく秋の水 泉
竿に來てとんぼ止りぬ家人留守
さようならの聲ふりむきし露の間
朝顔の満みのふくれ思慕かなし 秋
次號課題、破芭蕉、行 秋、雜
詠 計六句